

就農・定着応援プラン

平成 30 年 12 月 28 日策定

すべては未来に繋げる農業のために！



三條環境整備隊

市三條集落 位置図



市三條集落の概要



1. 集落の位置

当集落は、市の中央部に位置し、南あわじ市中央公民館の隣の集落となっています。

2. 集落の人口

南あわじ市の人口47,690人の内、市三條集落には人口約600人が生活しています。

3. 気候

年間平均気温は約16.3℃、年間降水量は約1,300mm、日照時間1,760時間 冬は温暖で野菜栽培に適した気候となっています。

4. 地域農業の特徴

南あわじ市は水稲と野菜を組み合わせた三毛作農業を展開しており、淡路島たまねぎ、レタスは全国的にも有名でブランド化されています。当集落では水稲と玉葱、レタス、白菜をメインに作付けをしています。

5. 市三條集落の観光

当集落には観光施設はありませんが、淡路人形浄瑠璃発祥の地であり、歴史のある地域となっている。当集落の八幡神社には脇宮として百太夫を祀った社があり、同神社前には淡路人形発祥地の碑も建てられている。



八幡神社の外観



がくがはらの外観

市三條集落における独立自営就農への支援計画

市三條集落の主要品目

第1位「レタス」



「あわじ島レタス」は10月から5月まで長期間お届けしています。

新鮮なレタスをお届けするため全期間真空予冷を行っています。

8月播種作業から始まり、5月収穫まで作業します。

売上目標は1玉90円～150円

第2位「たまねぎ」



「甘い・やわらかい・辛味の少ない」が特徴の淡路島産玉ねぎ。

瀬戸内海式気候で全国トップクラスの日照量、水はけのよい土壌、玉葱小屋にて乾燥させる島ならではの育て方が美味しい玉ねぎを育てます。

売上目標は キ 75円以上

第3位「はくさい」



淡路島で育つ白菜は丸々と育ち、甘みがあります。

淡色野菜ですが、ビタミンCはみかんと同じくらい、カルシウムは人参やセロリと同じくらい含みます。

売上目標は1玉150円

市三條集落における独立自営就農への支援計画

1. 営農類型・・・ 「水稻」 + 「野菜」 の複合経営(就農2年目：夫婦での経営モデル)

2. 年間営農スケジュール

作物名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
水稻					播種	定植			稲刈	稲刈		
たまねぎ	定植			収穫	収穫	収穫		播種		定植	定植	定植
はくさい			収穫						播種	定植		収穫
レタス	定植・収穫	定植・収穫	定植・収穫	収穫	収穫			播種	定植	定植・収穫	定植・収穫	定植・収穫

3. 農業所得 農業収入 800 万円 経費 500 万円 農業所得 300 万円

4. 年間労働時間 日数 288 日 労働時間 2800 時間

5. 主な所有農業施設、機械一覧

- ・ トラクター 中古 200万程度
- ・ リフト 中古 90万程度
- ・ 動噴器 80万程度
- ・ レタパッカー式 300万程度
- ・ テイラー 25万程度
- ・ 玉葱掘り取り機 130万程度
- ・ 軽トラック 中古 50万程度

6. 経営の構成

常時従事者 1 名 雇用労働者 0 名 臨時雇用労働者 2 名

7. 地域の営農を教えます！

水稻

南あわじ市では、水稻で生計を立てるのではなく、夏場に水田に水を張ることで土壤消毒をして秋冬野菜（玉葱やレタス、白菜）に備えます。

土づくり

土壤検査を行い、適した成分を散布する形が良いと考えています。どのような土づくりが最善なのかには終わり無く、永遠に続く作業です。

野菜が根を張りやすい状況と微生物が活動しやすい環境をいかに作りあげるかだと考えています。

たまねぎ

品種選定から収穫まで、一貫して営農指導をさせていただきます。

まず、やってみることから始めていきましょう。

市三條集落、親方（雇用先）先輩農家の紹介

豊田 公隆 水稻+露地野菜



福永 昌文 水稻+露地野菜



島田 勝郎 露地野菜



・市三條地区が求める就農希望者

三條地区の親方農家の元で3年間雇用就農を経験し、
その後、独立就農を目指す方

・雇用期間中に学べること、またはメリット

各種野菜の栽培に従事することで、一連の流れを経験できます。私達の集落では、生産・採果・物流・販売とグループにて一貫体制にあるので、生産以外の経験も出来ます。

・独立自営就農に向けた地域のバックアップ

人・農地プランを策定している為、空き圃場の情報は早く入手できる環境にあります。また、独立後は次世代人材投資事業の支援を受けながら就農することができます。空き家・空き倉庫等においても、共に、考えていく事ができます。

・販路

JA出荷のみに頼らない取り組みを既にしています。共に、販路開拓業務に取り組める状況化にあり、経験値を積み上げるには最適です。

市三條集落における独立自営就農への支援計画

独立自営就農へ向けた支援計画（案）です。

※3年間、週1回、農業日記を提出して頂きます。これは、ノルマです。

三條環境整備隊メンバー全員が閲覧します。

○ 雇用期間 1年目

私達のグループ内の農園にて、経験を積んで頂きます。
1件だけでは、視野が狭くなる為、各農園の良い所を吸収してもらいます。
そして、生産のみならず、採果・出荷・物流作業も経験して頂きます。
最後に、販路開拓の業務、取引先への商談に同行して頂きます。

1年目は広く、浅く、広範囲に農業経営の流れを掴んで頂ければと考えています。

○ 雇用期間 2年目

圃場を一まちを管理して頂きます。
作付品目は、秋レタス後、玉葱、最後に、水稻で考えております。

作業開始は8月上旬の土づくりから開始をし、8月下旬にレタス播種。
9月にレタス定植、11月上旬レタス収穫。
12月玉葱定植、6月玉葱収穫。
6月田植えといった流れにて、1年目に経験した流れを生かしながら、自分自身が責任を持ち、管理作業に従事してもらいます。

言われた事をするだけの農業では、意味がありません。
経験を通じ、トライ&エラーを繰り返す事で、技術係数が上昇します。

○ 雇用期間 3年目

自分自身で作付計画を行い、損益計算書を作成してもらいます。

そうすることで、コスト意識が醸成され、販売への意識も向上します。

農業経営者として、自分自身が不足していると思われる点について、毎月開催される委員会にて質問できる機会を設けます。
自身が解決をはかりたい具体的な質問を重ねていくことで、技術係数は上昇します。

独立支援の3年が終了したからといって、私達の支援が終了するわけではありません。
私達の付き合いはあなたが望むかぎり、人生の終焉迄、終わる事はありません。

それが、地域農業を守っていくという事だと考えています。

市三條集落における独立自営就農への支援計画

・ 住居

アパート、マンション等を賃貸される形でも構いません。また、市三條集落にて空き家が発生した際には、地主を紹介させていただきます。

地区入り

市三條集落で農業をするためには基本的には自治会に入会する必要があります。
地区費は入会される際に、ご説明させていただきますが、雇用就農期間は自治会に入会する必要はありません。

・ 家庭用ゴミの取扱い

家庭用不燃ゴミは公会堂横のゴミステーションで以下のとおりとなっています。

可燃ごみ：火曜日、金曜日 ゴミかごへ

不燃ごみ：隔週水曜日 ※いずれも7時までにゴミを出して下さい。

・ お祭り

春まつりがあります。毎年3月から市三條地区公会堂でだんじり唄の練習があります。本格的に地域の一員となる場合は祭礼団に所属する必要があります。

・ 水路の清掃活動や草刈り

全島一斉清掃が毎年7月と11月にあります。
その他、地域全体で草刈りや水路掃除があります。
地域の農業に関わる者が殆ど参加します。雇用期間中でも参加が必須です。





共に、未来に繋がる農業経営を創りあげましょう！

役割分担

(株)アクアヴェルデAWAJI	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用就農情報の提供 ・ 農業体験サポート
淡路協同物産(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地確保のサポート ・ 販売先のサポート
福永農園、島田農園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業体験サポート ・ 技術指導 ・ 農地確保のサポート
人・農地プラン検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地確保のサポート
自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の受け込み支援（行事への参加案内等）
市町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業支援制度、移住定住制度の情報提供、調整 ・ 応援チームのフォローアップ
普及センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術指導 ・ 農業支援制度（県）の情報提供、調整

【お問合せ】

南あわじ市役所 農林振興課 ☎ 0799-43-5223